

おとふけ

社協だより

No. 161

発行 社会福祉法人 音更町社会福祉協議会 音更町大通 11 丁目 1 番地 ☎ 42-2400
E-mail : otofuke-shakyo@rainbow.plala.or.jp
HP : <http://otofuke-shakyo.jp>

令和6年6月25日



サポーター募集中です。
令和6年度の
サポーター養成研修は
P9をご覧ください。

コミサポカフェ(3月22日)の様子

Facebook更新中

本会で実施している事業等、最新の情報を随時発信しておりますので、ぜひご覧ください。

スマートフォンの方は
こちらから▼



日 時：奇数月の第4金曜日 10時00分～12時00分

(令和6年度：7/26, 9/27, 11/22, 1/24, 3/28)

場 所：音更町総合福祉センター大集会室（大通11丁目1）

参加費：200円（飲み物おかわり自由）

社協の活動をサポートいただいているコミュニティサポーターの皆さんが主体となり、「誰でも安心して、楽しめる居場所」「地域の皆さんがつながる場」を目指して、「コミサポカフェ」を開催しています。

小さなお子様からお年寄りまで、認知症や障がいをお持ちの方でもどなたでも大歓迎です。お茶菓子や簡単に楽しめる企画などをご用意してお待ちしております。

この社協だよりは、赤い羽根共同募金助成金が使われています。



令和6年度 社協の事業について

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に位置づけられたことを踏まえ、各種事業を展開してまいりました。令和6年度は、令和4年度に策定した「第1期地域福祉実践計画」の中間評価を実施し、今後の事業改善につなげてまいります。

長引いたコロナ禍も相まって、人と人との結びつきの希薄化が危惧される中、今後も誰もが助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」の実現を目指し、役職員一丸となり、法人運営、地域福祉、生活福祉支援、高齢者就労センターの事業活動を進めてまいります。今後とも、町民の皆さまの一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

I 法人運営部門

社協会員の加入促進

町内会及び社協推進員の皆様のご協力により、町民の皆様へ理解を求め、会員の加入促進に取り組めます。

社協だより・ホームページ等による周知

年4回発行する「おとふけ社協だより」と社会福祉協議会ホームページ、Facebookにより社会福祉協議会の活動状況やボランティアの情報等を発信しています。



ホームページアドレス <http://otofuke-shakyo.jp/>

老人クラブ連合会事務局業務

役員会の開催、単位老人クラブへの支援、各種研修や大会の運営等、老人クラブ活動の推進に努めます。

II 地域福祉部門

生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターの配置及び協議体との連携を通して、各種事業を推進しながら地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。

①地域交流サロン活動の普及促進

住み慣れた地域で「生きがいつくり」「健康づくり」のために行われる「地域交流サロン活動」を普及促進します。また活動に係る経費の助成、傷害保険の加入を行います。

②地域住民のニーズ把握

住民座談会や出前講座を通して、地域住民のニーズ把握に努めます。

③住民向け講演会の開催

「地域共生社会」実現にかかる住民理解を深めるための講演会を開催します。

④地域農園事業

生活の基盤となる身近な地域において、農作業を通じて外出の機会、社会参加の場を創出し、参加者同士の「支え合い」の関係構築を目指し、他の社会福祉法人等との共催により実施します。

⑤ラジオ体操の取組み

地域でのラジオ体操の活動に対し、広報等の必要な支援を行ないます。

ボランティアセンター事業

①ボランティアセンターの運営

ボランティアに関する情報提供体制を整備するとともに、安心してボランティア活動ができるよう、ボランティア関連の保険窓口業務、活動の需給調整等を行い支援します。

②災害ボランティアセンターの設置運営準備

有事の際の災害ボランティアセンターの設置に向け、「災害ボランティア養成」等の研修会を行います。

③おとふけ生きいきポイント事業

町内に住所を有する65歳以上の方が町長の指定する福祉施設等でボランティア活動を行うことにより、ポイントが付き、貯めたポイントに応じて換金することが出来ます。

福祉フェスタ

例年開催してきた「福祉まつり」と別の形で感染予防対策を講じながら、地域住民、ボランティア、

町内福祉施設等との協働のもと、福祉への理解を深めることを目的に開催します。

福祉レクリエーション物品の貸出

地域の交流活動を支援するため、健康増進に効果のある「ふまねと」や「ポッチャ」等のレクリエーション物品の貸出を行ないます。

歳末ふれあい事業

歳末たすけあい運動における募金をもとに、一人暮らし高齢者等を対象に、コロナ禍の状況を考慮しながら様々なツールを活用した交流事業を企画・実施します。

福祉用具の貸出

介護保険等の福祉制度が適用されない町民に対し、車いすをはじめとした在宅で生活するうえで必要となる福祉用具を一時的に貸出します。

ひとり親家庭支援事業

歳末たすけあい募金をもとに、18歳以下（高校3年生まで）のお子様を養育しているご家庭へ年末に図書カードを配布いたします。

喫茶はっぴい～事業

総合福祉センターにて、ボランティア、地域住民の交流の場、また障がい者の社会参加の場として運営します。

<喫茶はっぴい～営業時間>

月曜日～金曜日（祝祭日及び第3月曜日除く）
午前10時30分～午後3時00分

【はっぴい～で活動してみませんか】

心身に障がいがあり、就労等の確保が困難な方の社会参加の場でもあります。

作業については先輩やボランティアがサポートしてくれますので、まずはお気軽にご連絡ください。

音更町ふれあいの家支援事業

「誰もが気軽に集まれる交流の場」「地域の身近な小さな拠点」「住民が主体の運営」を基本とし、空き家を活用した交流の場の設置運営に係る費用の一

部を助成します。

帯広大谷短期大学との連携事業

①本会事業との連携

本会で実施している各種事業に学生に参加協力いただき、参加者との交流をいただくほか、事業に応じて企画の段階から短大と協議しながら進めます。

②福祉学習の推進強化

子どもたちに福祉や障がい、ボランティアに対する理解促進を図るため、短大と協働で作成した「福祉の学習支援プログラム」を基に福祉の学習を推進します。

Ⅲ 生活福祉支援部門

権利擁護事業

①日常生活自立支援事業

認知症や障がい等により、判断能力が十分ではない方に対し、福祉サービスの利用手続き援助や日常的な金銭管理等の支援を行います。

②音更町成年後見サポートセンター事業

音更町より委託を受け、成年後見制度の啓発や相談に応じるほか、市民後見人養成研修を開催します。その他、権利擁護支援の中核となる機関として、地域連携ネットワークの構築に努めます。

③法人後見事業

家庭裁判所からの選任を受け、社会福祉協議会が成年後見人等になり、法人後見支援員との協働により、被後見人の身上保護や財産管理事務等を行います。

コミュニティーサポート事業

①コミュニティーサポーターの養成

「誰もが安心して暮らし続けられる地域づくり」の一環として地域で活動していただくコミュニティーサポーターの養成講座及びフォローアップ研修を開催します。

②見守り訪問事業

在宅で生活をしている認知症の症状がある方等を対象に、研修を修了した「コミュニティーサポーター」が、話し相手や介護者不在時の留守番、本人との趣味活動等の見守り支援を行います。

③あんしんお預かり事業

何らかの理由により一時的に生活を維持するための払い戻しや支払いが出来ない状態になり、他に適切な支援者が不在の場合、利用希望者との契約により通帳の預かりや入出金の支援代行をします。

④緊急時安否確認（カギ預かり）事業【モデル事業】

申請により登録したひとり暮らしの高齢者の自宅のカギを預かり、コミュニティサポーターや地域の関係者の協力のもと見守り活動を行ないます。

緊急時には関係機関との連携により入室し安否確認を行ないます。

⑤コミサポカフェ

コミュニティサポーターの協力を得ながら「認知症や障がいがあっても誰もが安心して楽しめる居場所」「地域住民がつながる場」を目指し、奇数月の第4金曜日に総合福祉センターを会場にカフェを開催します。

生活支援事業

①生活福祉資金貸付事業

北海道社会福祉協議会より委託を受け、収入が少なく必要な資金の融資を他から受ける事が困難な世帯や、障がい者、高齢者のいる世帯の生活安

定、向上を図ることを目的に様々な貸付資金の相談窓口となります。

②生活困窮者に対する安心サポート事業

北海道社会福祉協議会との協働により、制度の狭間の生活困窮などの様々な課題を抱える人に対し、自立相談支援機関等の関係機関と連携し、概ね3万円を限度とした経済的援助を現物で給付します。

③応急生活資金貸付事業

生活保護世帯等の生活に緊急を要する際、小口資金の貸付を行います。

④フードバンク事業

生活が困窮した状態となり、当面の食料等がない世帯に対し、町民等から募った食料等を提供することにより本人の自立に向けた意欲の向上と食品ロスの削減に寄与します。

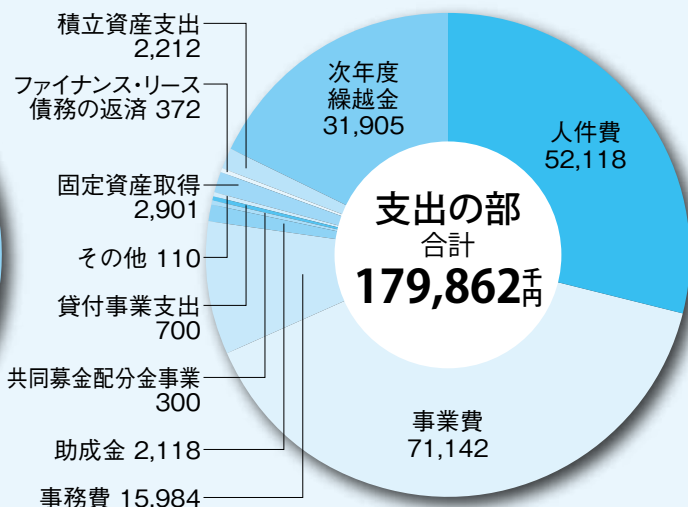
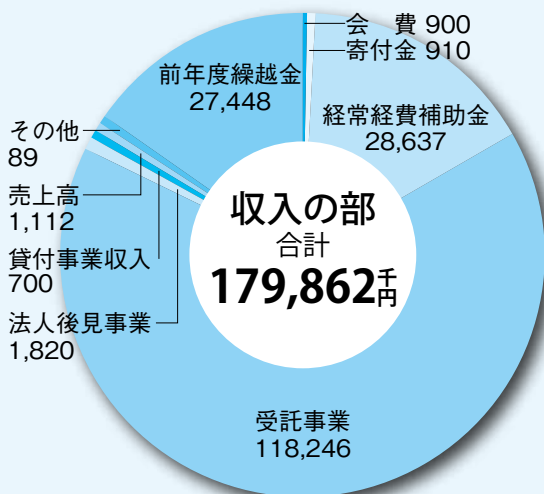
Ⅳ 高齢者就労センター部門

高齢者就労センター

町内在住の概ね60歳以上（80歳未満）で健康な方に様々なお仕事を紹介します。

男性、女性、資格や免許に応じ、会員登録者に適した就労の場を確保します。

令和6年度収支予算（単位：千円）



令和5年度 事業報告

令和5年度実施事業について以下のとおり報告します。

地域福祉部門

■生活支援体制整備事業

- I. 地域交流サロン活動の普及促進
 - ・町内22か所のサロンを後援
 - ・広報活動、傷害保険の加入、活動費の助成等
- II. 協議体の運営及び住民主体の地域福祉活動の推進
 - ・地域でのラジオ体操 2か所
 - ・地域農園の実施 2か所(延845名参加)

■ボランティアセンター事業

- I. ボランティア登録状況
 - ・個人ボランティア登録数 24名
 - ・団体ボランティア登録数 33団体(459名)
- II. 災害ボランティアの養成
 - ・災害ボランティアセンター研修会(2月20日) 175名参加
- III. おとふけ生きいきポイント事業
 - ・事業説明及び登録研修会 1回
 - ・事業登録者(ポイント手帳交付) 95名
 - ・受入機関 町内43事業所(社会福祉協議会を含む)
- IV. ふまねっと及びポッチャの普及促進
 - ふまねっと：開催数 100回・延サポーター参加数232名
延参加人数 1,579名
 - ポッチャ：開催数 44回・延参加者数 971名
 - モルック：開催数 36回・延参加者数 743名
 - ユニバーサルスポーツ体験会：開催数2回・参加者数23名

■おとふけ福祉フェスタ

11月5日開催

■福祉用具の貸出

- ・車いす 56回貸出
- ・ポータブルトイレ 1回貸出
- ・特殊寝台 2回貸出

■ひとり親家庭支援事業

112世帯(183名)へ図書カードを配布

■喫茶はっぴい〜事業

- ・営業日数 220日
- ・ボランティア延人数 190名
- ・利用者受入延人数 226名

■コミサポカフェ

開催数 6回・延参加者数 328名(うちサポーター 93名)

■帯広大谷短期大学との連携

- ・福祉フェスタ、歳末ふれあい事業への学生の参画
- ・福祉の学習の推進強化(町内小学校)

■歳末ふれあい事業(ワクワクお便り交流)

帯広大谷短期大学介護福祉専攻の学生の協力を得て「お便り」を活用しての非接触型の交流事業を実施しました。

参加者 77名

■音更ふれあいの家支援事業

地域の身近な拠点として空き家を活用した交流の場の設置運営運営にかかる費用の一部を助成しました。
助成対象 2町内会

生活福祉支援部門

■権利擁護事業

- I. 日常生活自立支援事業
 - ・生活支援員登録数 27名
 - ・サービス利用者 3名
- II. 音更町成年後見サポートセンター事業
 - ・住民参加の地域づくり映画上映会(6月24日) 198名参加
 - ・法人後見支援員情報交換会(8月30日) 15名参加
 - ・市民後見人フォローアップ研修(4月25日・2月9日) 延べ42名参加
 - ・相談実績 48件(新規33件・継続15件)
- III. 法人後見事業
 - 受任件数 令和5年度末9件(継続8件・新規1件)
- IV. コミュニティサポート事業
 - ・コミュニティサポーター養成講座(10月30日) 7名参加
 - ・サポーター連絡会(3月8日) 17名参加
 - ・見守り訪問事業 利用件数 令和5年度末4件
 - ・あんしんお預かり事業 利用件数 令和5年度末1件
 - ・緊急時安否確認(カギ預かり)事業(モデル事業) 利用件数 令和5年度末2件

■生活支援事業

- I. 生活福祉資金貸付事業
 - ・緊急小口資金(本則) 2件
- II. 生活困窮者に対する安心サポート事業
 - ・支援件数 6件
- III. 応急生活資金貸付事業
 - ・貸付件数 5件
- IV. フードバンク事業
 - ・支援延件数 147件
 - ・支援物品受入延件数 124件

高齢者就労センター部門

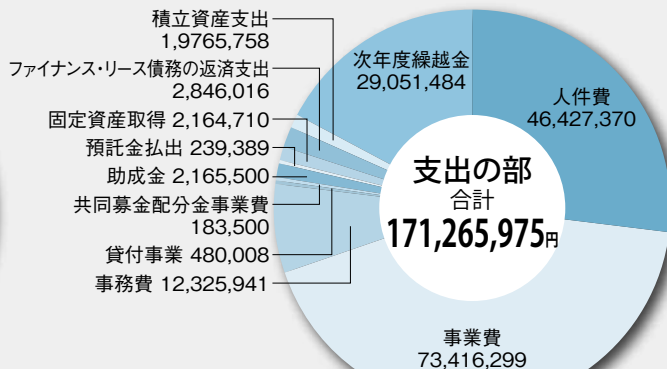
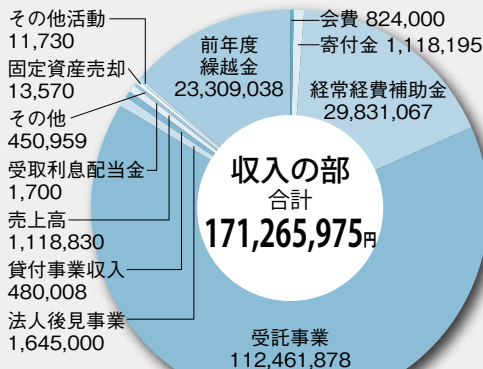
■公共業務

年間就労延人員 延 6,357名 受託件数 18件

■民間業務

年間就労延人員 延 4,203名 受託件数 1,370件

令和5年度収支決算 (単位：円)



令和5年度社会福祉協議会会費納入報告

たくさんのご協力をいただき、誠にありがとうございました。ご協力いただいた社協会費を報告させていただきます。

世帯会員

(網掛けは町内会からの一括納入含む)

町内会名	金額(円)	件数(件)
東平和	2,600	
南中新政	2,200	
勲	3,200	
稲穂	12,800	1
宝来第1	4,000	
宝来第2	5,000	
宝来第4	2,000	1
宝来第5	5,000	
ひびき野西町第1	7,050	
ひびき野西町第2	1,000	1
ひびき野仲町2丁目	5,000	
ひびき野東町2丁目	7,000	1
北宝来1	39,000	21
東旭	4,000	
旭	4,200	
北昭和	3,200	
東昭和	3,000	
中昭和	3,400	
昭和	2,000	
共和	1,600	
東昭栄	3,600	
昭栄	6,500	
北明	11,200	
新生	26,600	
双葉	6,000	
三交	2,800	
にこにこ	6,600	
桜が丘	13,200	
桜が丘西	10,000	
北陽台	11,000	
雄飛が丘南区第1	2,000	

町内会名	金額(円)	件数(件)
雄飛が丘南区第2	12,600	
雄飛が丘南区第3	10,000	1
雄飛が丘仲区第1	12,600	
雄飛が丘仲区第2	10,000	
雄飛が丘北	13,000	14
雄飛が丘中央団地	14,000	
六新	10,800	
七福	8,800	
新緑	2,600	
東栄南	7,200	1
泉	7,600	
新泉	5,000	
若葉	12,400	
梢	2,000	1
北花園	26,600	
花園	12,000	
緑が丘	2,000	
住吉	5,600	17
開進	10,000	
楓	5,000	
柳町南区東	10,000	
柳町南区西	400	2
緑陽台仲区東	5,000	
共栄	20,250	
緑街	20,000	
むつみ	20,000	
共栄高台	10,000	
共栄台南	2,000	
共栄台東	5,700	
緑陽	45,000	
木野5	10,000	51

町内会名	金額(円)	件数(件)
木野7	10,000	
木野西11	10,000	
木野新町	10,000	1
大橋	5,000	
千隆	8,400	
青葉	10,000	
中鈴蘭	10,000	
すずらん台	5,000	1
北蘭東	200	1
北蘭西	30,000	
鈴蘭	5,800	
鈴蘭公園通	1,000	1
然別	6,800	
大和	1,800	
東士狩	5,000	
矢部	5,000	
鎮鍊	4,000	
上然別	4,200	
北上	4,500	
北栄	1,000	
誉	3,200	
牧場	3,800	
北駒場	3,600	
東中音更	7,000	
光和	2,000	1
西大牧	800	
友進	2,200	
牧	1,800	
町外	1,000	1

賛助会員

会社名	金額(円)
音更町農業協同組合	30,000
木野農業組合	10,000
向平健康堂薬局	20,000
水口印刷	2,000
光明寺	6,000

会社名	金額(円)
帯広保安資材	4,000
(有)笹本燃料店	20,000
帯広大谷短期大学	2,000
宝来中央歯科	10,000
榑本別システム	2,000

会費納入合計額

884,000円

世帯会員 718,000円
賛助会員 106,000円

社協の活動は皆さまの会費によって支えられています

社会福祉協議会（以下「社協」）は、地域の皆さまに支えられた民間の福祉団体です。

地域の皆様のお力を活かしながら、誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを目指し、地域福祉を推進する役割を担っています。

行政による法律に基づいた福祉施策とは違い、住民主体の地域福祉活動の実施のため、社協会費への協力をお願いしています。

社協の財源は どうなっているの？

- 音更町や北海道社会福祉協議会からの補助金・委託金
- 社会福祉協議会会員からの会費
- 共同募金からの配分金
- 地域の皆さまからの寄付金
- 高齢者就労センターや喫茶事業による収益



社協事業の自主性を高めるために
自主財源の確保が重要になります

- | | | | |
|-------------------------------|---|--------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> 世帯会員 | — | <input type="checkbox"/> | 200円 |
| <input type="checkbox"/> 賛助会員 | — | <input type="checkbox"/> | 2,000円 |
- （社会福祉施設、福祉団体、会社等）

納入方法

◆現金をご持参いただく場合

社協事務局（音更町大通11丁目1番地 音更町総合福祉センター内）にて受付いたします。（平日 午前8時45分～午後5時30分）

◆口座でお振込みの場合

音更町農協、木野農協のそれぞれに専用の振込用紙を用意しております。

※各町内会長より推薦をいただいております「社会福祉協議会推進員」がご家庭を訪問し、会員加入の協力をお願いする場合がございます。

問い合わせ：総務係 ☎42-2400

「音更町限定 寄付金付きピンバッジ」のご紹介

「赤い羽根共同募金」運動の一環として、音更町限定の寄付金付きピンバッジを作成しました。「おおそでくん」は、音更町で半世紀を超え生産されている「音更大振袖大豆」をモチーフにしたキャラクターです。2024年は、フランスのパリでオリンピック・パラリンピックが開催されます。選手の皆さんの活躍に期待し、金メダルバージョンのおおそで君が登場しました！

販売額の500円から製作費を差し引いた金額が音更町の赤い羽根共同募金実績となります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1個 500円（1,000個限定）

総合福祉センター・木野支所・町内各道の駅・向平健康堂薬局様にてお求めいただけます。



住民同士の支え合いの仕組みづくり

高齢化が進む中、医療・介護の負担はどんどん増えていき、これまで以上に地域の中の支え合いの仕組みが重要になってきます。

その前提として支え合いの関係づくりのために人が集まり交流する場が必要となります。音更町内でも、色々な形の通いの場が増えてきています。



ラジオ体操活動開始6年目♪

令和元年から始まった住民有志のラジオ体操の会（本会が後援）も今年で6年目を迎えました。どなたでもご参加いただけますので、朝のお散歩ついでに参加してみませんか？



おはよう広場

団体名	場所	実施日時
おはよう広場	総合福祉センター前	5月7日～10月31日 平日6時30分
みんなでラジオ体操	雄飛が丘南公園	5月7日～10月31日 隔週平日7時00分



みんなでラジオ体操

地域農園事業

令和3年度から、農作業を通じた外出の機会、社会参加の場となることを目的として地域農園事業に取り組んでいます。社会福祉法人音更町柏寿協会様、医療法人社団博愛会様の2法人に共催いただき、地域農園「話花（はなばな）」、地域農園「この葉」の2か所の地域農園を開設しております。

収穫したものは、参加者で持ち帰ったり、共催いただいた施設入所者の皆さんにご提供していただいております。また、共同募金特別企画に活用したりしています。

参加者を随時募集していますので、ご興味のある方は本会までお問合せください。



「話花」(音更町柏寿協会)

みんなで
おしゃべりも楽しみながら、
和気あいあいと
作業しています。

施設に入居している方も
一緒に参加しています。



「この葉」(博愛会)

アドバイザーの
指導のもと
活動しています

「話花」は1年目からご指導いただいている平田松征さんに今年もお世話になります。

「この葉」は新たに坪道夫さんをアドバイザーに迎えて活動しています。

地域のために
できること
探してみませんか？

～コミュニティサポーター
養成講座を開催します～



○コミュニティサポーターとは？

音更町が「誰もが安心して生活できる町」となるように、本会職員と共に地域の困りごとや課題について考え、解決に向けて取り組む人です！現在、40名以上の方が登録していただいております。

○こんな人を募集しています

「退職して自由時間が増えた」 「誰かの役に立ちたい」
「隙間時間に何かしたい」



○サポーターの皆さんの活動

・見守り訪問事業

在宅で生活している認知症の症状がある方を対象に、コミュニティサポーターが話し相手や介護者不在時の留守番、本人との趣味活動等の見守り支援を行います。

・緊急時安否確認（鍵預かり）モデル事業

申請により登録した一人暮らしの高齢者の自宅の鍵を預かり安否確認をします。

コミュニティサポーターには関係機関とともに対象者の日常の声かけ・見守りをお願いしています。

・コミサポカフェの運営

コミサポカフェ（表紙に掲載）の運営に協力いただいています。

＜講座概要＞

- ・日時：令和6年7月19日（金） 13時00分から16時20分
- ・場所：音更町総合福祉センター中集会室（音更町大通11丁目1番地）
- ・内容：①住民主体の支え合いについて ②認知症の理解 ③在宅訪問の心構え
④コミュニティサポーターの活動報告 ⑤講座修了後の活動について
- ・受講対象者：音更町民
- ・定員：20名 ・受講料：無料
- ・申し込み：事前の申し込みが必要です。下記まで電話かFAXで申し込みください。
- ・申込締切：7月12日（金）



第4号

音更町
老人クラブ連合会会報

令和6年5月現在
クラブ数 40クラブ
会員数 2,010名
男性 849名
女性 1,161名
問い合わせ先：社会福祉協議会

令和6年度音更町老人クラブ連合会総会

4月26日(金)総合福祉センターにおいて、令和6年度の総会が開催されました。老連役員を含む56名が出席。令和5年度事業報告及び収支決算、令和6年度事業計画及び収支予算が審議され、原案どおり可決されました。また会議の前段で、永年功労者として4名の方に表彰状が贈呈されました。



令和6年度 音更町老人クラブ連合会功労表彰者 (敬称略)

- ・宮浦 豊 (木野5区長生会会長・町老連役員)
- ・今井 武 (町老連役員)
- ・塚本 明雄 (こまば万年青会会長・町老連役員)
- ・吉田 信子 (町老連役員)



町老連役員・単位老人クラブ会長との合同会議

5月17日(金)第1回役員会の開催に併せて、単位老人クラブ会長の会長会議が合同で開催されました。

会議では町老連主催の上半期事業について協議され、単位老人クラブ会長の皆様からも有意義な意見を多くいただきました。皆様からいただいた貴重な意見を参考にし、上半期事業に反映させていただきます。



令和6年能登半島地震義援金にご協力をいただきました

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に対する義援金につきまして、5月現在で22の単位老人クラブより、530,844円の協力をいただいております。

また、3月5日に行われた「老人演芸大会」の会場に募金箱を設置し、当日来場された皆様より31,440円の協力がありました。義援金につきましては音更町共同募金委員会でお預かりをし、北海道共同募金会へ送金後に、対象の被災地へ寄託されます。

多くのご協力に対し、この場を借りてお礼を申し上げます。

老人クラブへの加入について

老人クラブは60歳以上の方であれば、どなたでも加入できます。

- ・「単位老人クラブ」は基本、ご自宅から近くの範囲で組織されています。
- ・クラブ会員は随時募集しています。
- ・体験参加も可能です。

興味のある方は、お気軽に事務局までお問い合わせください。

～単位老人クラブの活動紹介～

「地域を回り新たに20人が会員に」

中央福寿会（高田 常夫会長、会員72名）

昭和37年に発足した中央福寿会の定期総会が、この度総合福祉センターで開催されました。

年度計画の健康麻雀や長寿を祝う会、管内視察研修などの計画案が決議承認され、高田会長からの「昨年、老人クラブ加入お誘いのチラシを作成し、一人ひとりと対話して地域を回り、共感してくれた20人が新会員になりました。」との報告に拍手喝采が送られました。



定期総会（in 総合福祉センター）

「みんなで地域環境活動を」

東土幌喜楽会（長沢 広茂会長、会員110名）

地域環境活動の一環として春と秋に地域道路沿いの清掃活動を実施しております。今春は、会員60数名が参加。

清掃する道路は主要幹線が多く、交通量が少ない日曜日に作業を行いました。ゴミは空き缶・ペットボトルが主で、中にはタイヤ等色々なものが捨てられており、一向に減少しません。

他には地域コミセンの花壇の植え付けから維持管理まで多くの会員が参加してくれています。また、地域神社やコミセン周りの草刈も事業として実施しております。



「楽しく、和やかに！」

緑陽台老人クラブ（松本 正吾会長、会員75名）

今年度初の行事「喜楽会&お花見会」が5月16日に行われ、45名が集いました。

講座ではスクリーンを使って「高齢期の健康と栄養について」の説明を受け、非常に好評でした。

その後、ビンゴゲーム・会食に移り、久々の顔合わせで四方山話に花を咲かせたり、お互いの健康をたたえ合ったり、歳相応？に盛り上がりました。

アルコールの勢いを借り、カラオケを披露する人もおり、初夏のひと時を楽しく和やかに過ごしました。



緑陽台会館・大広間にて

「ふれ愛・友愛・助け愛」

北蘭友愛クラブ（掛下 昌己会長、会員149名）

北蘭友愛クラブでは会員相互の健康寿命を延ばす活動として通年で「ふまねっと運動」を行っております。

また昨年度は例会で「健康・認知症」の講座を開催し、講座終了後に、婦人部が作成した豚汁で懇親を深めました。

その他、5月から10月まで公園清掃を行ったり、月2回の「歩こう会」を会員同士、和気あいあいと実施しております。

3月に町老連主催で行われた「演芸大会」では、参加者・応援者共に、大変盛り上がりました。





令和6年度 市民後見人養成研修

音更町では、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が十分ではない人の権利を守るため、財産管理や日常生活でのさまざまな契約等の後見業務を行なうことができる知識・技量を備えた「市民後見人」を養成する研修を開催します。

なお、市民後見人として活動するためには原則、養成研修のすべての講義を受講することが必要です。



●日 程 令和6年8月22日(木)～令和6年10月3日(木)の毎週木曜日
13時30分～17時00分（一部日程は変則時間） 予定

●会 場 音更町総合福祉センター（音更町大通11丁目1番地）

●内 容 右記「音更町市民後見人養成研修カリキュラム」のとおり



- 対 象 ①研修終了予定日において、満25歳以上で、現に音更町に居住する者
- ②これまでに未成年後見人、成年後見人、保佐人、補助人を解任されたことがない者
- ③破産していない者
- ④音更町市民後見人養成研修を修了されていない者
- ⑤原則としてすべての研修カリキュラムを受講できる見込みがある者

●受講料 無料 但し、教科書代（2,277円）受講者負担



●募集期間 令和6年6月17日(月)～令和6年7月22日(月)必着

●定 員 10名（申込先着順で、定員になり次第、締切らせていただきます。）

●申込方法 別紙「市民後見人養成研修受講申込書」に必要事項を記載し写真（縦3cm×横2.5cm、裏面に記名）を貼付したものを、音更町社会福祉協議会まで郵送又はご持参下さい。
※募集要項、申込書等は、音更町社会福祉協議会窓口・ホームページまたは、木野支所で取得できます。

●そ の 他 全カリキュラムを修了した方には修了証が発行されます。

----- 申込・問合せ先 -----
社会福祉法人音更町社会福祉協議会（ホームページ <http://otofuke-syakyo.jp/>）
〒080-0101 音更町大通11丁目1番地 音更町総合福祉センター内
電話 0155-42-2400



令和6年度 市民後見人養成研修カリキュラム

会場：音更町総合福祉センター 1階 大集会室

回	月・日	曜日	時間帯	単位	分	研修内容	講師	
第1回	8/22	木	1	13:30~13:50			開講式・オリエンテーション	
			2	13:50~15:50	2	120	市民後見人概論	社会福祉士 宮澤 英雄 氏
			3	16:00~17:00	1	60	権利擁護の理念	
第2回	8/29	木	4	13:30~14:30	1	60	民法（財産法・家族法）	弁護士 岩崎 優子 氏
			5	14:40~15:40	1	60	成年後見制度概論Ⅰ（法定後見）	
			6	15:50~16:50	1	60	成年後見制度概論Ⅱ（任意後見）	
第3回	9/5	木	7	13:30~14:30	1	60	認知症の理解	帯広大谷短期大学 小林 聖恵 氏
			8	14:40~15:40	1	60	障がい者の理解	十勝障がい者総合相談支援センター
			9	15:50~16:50	1	60	意思決定支援について	社会福祉士 宮澤 英雄 氏
第4回	9/12	木	10	13:30~14:30	1	60	後見実務Ⅰ（申立て）	司法書士 遠藤 豊和 氏
			11	14:40~15:40	1	60	後見実務Ⅱ（報告）	
			12	15:50~16:50	1	60	後見実務Ⅲ（終了）	
第5回	9/19	木	13	13:30~15:40	2	120	対人援助の基礎	帯広大谷短期大学 佐藤 英晶 氏
			14	15:50~16:50	1	60	家庭裁判所の機能と役割	釧路地方家庭裁判所帯広支部
第6回	9/26	木	15	13:30~14:00	0.5	30	地域包括支援センターの役割・高齢者虐待防止	高齢者福祉課 包括支援係
			16	14:00~14:30	0.5	30	介護保険制度	高齢者福祉課 介護保険係
			17	14:40~15:10	0.5	30	障がい者施策	福祉課 障がい福祉係
			18	15:10~15:40	0.5	30	生活保護制度	福祉課 福祉係
			19	15:50~16:20	0.5	30	社会福祉協議会(コミサポ)とは	社会福祉協議会
			20	16:30~17:30	1	60	日常生活自立支援事業について	社会福祉協議会
			21	受講申込時	1		レポート	エントリースーツ
			22	研修最終日	2			市民後見人像
第7回	10/3	木	23	13:30~14:00	0.5	30	受講生スピーチ	受講生
			24	14:10~15:20	1	60	今後の活動と心構え (法人後見支援員の登録と活動)	社会福祉協議会
			25	15:30~16:30	0.5	30	実践報告	支援員
			26	16:30~			閉講式	

※ 今年度は、音更町・幕別町・池田町、3町での共同開催です。



※市民後見人とは、判断能力が低下した方の生活を身近な立場で支援する、知識・技量・人格を備えた、親族や専門職以外の住民による後見人です。

※市民後見人養成研修とは、成年後見制度や関連する事業、対人援助の基礎などを幅広く学ぶ研修です。



高齢者就労センター会員募集!!

公共業務（草取り・草刈り・リサイクル作業等）や、ご家庭から高齢者向きのお仕事を引き受けて、知識や経験、技術に見合ったお仕事を会員の方に紹介します。

- ◆原則として町内在住の概ね60歳以上の健康な方であれば会員登録できます。
- ◆働いた内容に応じ、毎月決められた日に配分金が支払われます。

それぞれにあった作業を紹介します

●屋内外作業

草刈、草取り、庭木剪定、畑おこし、室内清掃、除雪など



●農作業

芋、長芋、ビート等の収穫支援



●事務作業

年賀状や封筒の宛名書き、賞状部分書き



●資源ごみ収集作業

音更町からの委託を受け町内の資源ごみの収集運搬業務を行っております。

※現在、資源ごみ収集作業、草取り・草刈り作業をしていただける方を特に募集しています。

問い合わせ：高齢者就労センター ☎42-3335

フードバンク事業へのご寄付 ありがとうございます

令和6年3月8日～令和6年5月27日

フードバンク事業とは、食べ物をお渡しするだけではなく、食品ロス削減にも寄与しようとする活動です。

◎物品

預託品名	預託者氏名	数量
アルファ米（チキンライス）	旭川開発建設部経理課	50 食分
アルファ米（ドライカレー）		50 食分
アルファ米（エビピラフ）		50 食分
袋麺	音更町役場 係長会	45 食
缶詰		10 缶
子ども用おむつ	音更町危機対策課	3 袋
おやつ	渡邊 順子	24 袋
お菓子	国際ソロプチミスト	5 袋
レトルトカレー	おとふけ	8 食分
おむつ	音更町商工会	5 袋
飴		5 袋
おやつ	渡邊 順子	24 袋
LL牛乳（12本/箱）	よつ葉乳業株式会社	60 箱

【匿名の寄付】

預託品名	数量
お米	43.3 kg
缶詰	32 缶
飲料	35 缶
レトルトカレー	12 食
カレールウ	4 箱
袋麺	31 食
真空パック惣菜	1 箱
長期保存豆腐	10 パック
調味料類	5 本
油	2 本
お餅	1 袋
コーヒー	1 セット
のり	2 袋
トマトソース	1 瓶
おしるこ	1 パック
梅干しなど	4 点
お菓子	2 個
パックご飯	5 パック
ぞうすいの素	1 袋
食料	段ボール 5 箱
下着	4 着
消毒綿	3 箱
生理用品	47 点

フードバンクより

- ・封が空いた食料はお受けできません。
- ・“子ども用おむつ”が不足しております。



＼どれくらい配布しているの？／

日本で廃棄されている食べ物は年間600万トン以上と言われています。それに対してフードバンクの団体が寄付を受けて配布している食品は年間約4,000トンです。1食あたり180gを目安として計算すると、4,000トンは2万2,000食に相当します。

←たくさんのご寄付をありがとうございます。

喫茶 はっぴい～

Q.喫茶はっぴい～で一番売れているものは？

A.おにぎり

お客様によりおいしく食べていただく為に、

“おにぎり講座”を開きました。



ボランティアさんや利用者さん（計9名）が参加しました。

意見を出し合いながら、おいしいおにぎりの握り方を確認しました。



ラッシー 200円 6月1日より
(マンゴー)

ラッシー～インドでは定番のヨーグルトをベースとしたドリンクです。さっぱりとした味わいが特徴です。

新メニューのご紹介

* ご厚志ありがとうございました * 令和6年3月8日~令和6年5月27日

預託されました浄財を紹介いたします。 預託された浄財は配分先において有効に活用させていただきます。

社会福祉協議会の各種事業は、会員皆様の会費と寄付金等を主な財源として行っております。今後とも会員加入とご寄付につきまして、ご支援ご協力いただきたく、宜しく願い申し上げます。

◎金 銭

(敬称略)

寄 付 者 氏 名	寄付金 (円)	寄 付 金 使 途
音更町役場係長会	23,065	社会福祉協議会
沼田 秀実	500	
匿名	5,000	ラジオ体操

～地域農園への寄付～

小谷 隆志 (玉葱苗) 約 1,000 本

三浦 正敏 (種芋) 50kg

＼ 苗を皆で植えました！



◎物 品

預託者氏名	預託品名	数 量
下音更中学校	リングプル	29 kg
高野 辰夫	ベルマーク	数量不明
	使用済切手	40 枚
音更町商工会 女性部	タオル	102 枚
	ウエス	5,595 g
むつみ達者クラブ	使用済切手	1,382 g
	リングプル	5.4 kg
	ベルマーク	13 g
隊友会音更支部	リングプル	2.2 kg
木野温泉	リングプル	1320 g
中村 氏	リングプル	650 g
柳町自治会	リングプル	2.8 kg
ブルースカイ	リングプル	1.4 kg
音更ライオンズクラブ	タオル	289 枚
	バスタオル	2 枚
大森 紀子	使用済切手	800 g
	リングプル	530 g
	ベルマーク	100 枚
国際ソロプチミスト おとふけ	使用済切手	1011 枚
	使用済テレカ	3 枚
	リングプル	9.8 kg
	タオル	24 枚
	タオル	6 kg

◎物 品

預託者氏名	預託品名	数 量
JAボランティア 菜の花	リングプル	7.8 kg
	使用済切手	1 枚
	ハガキ	1 枚
	タオル	84 枚
	バスタオル	7 枚
音更町柏寿協会	リングプル	35 kg
山田 純子	タオル	73 枚
	リングプル	600 g
	使用済切手	1037 枚
地域支援センター らいふ	使用済切手	970 g
	リングプル	200 g
JAおとふけ女性部	使用済切手	0.8 kg
	タオル	139 枚
	リングプル	9.2 kg
木野農協女性部	使用済切手	600 枚
伊藤 信廣・早川 にこ	リングプル	2.6 kg
近間 智江子	リングプル	2.2 kg
	ベルマーク	数量不明
窪寺 雅比古	使用済切手	240 g
	リングプル	7 kg
高橋 恒子	リングプル	1.4 kg
小林 スエ子	リングプル	1.2 kg
匿名(4件)	リングプル	21.3 kg
匿名(1件)	使用済切手	数量不明
匿名(1件)	タオル	3 枚
匿名(1件)	イモ(メークイン)	20 kg
	イモ(北あかり)	20 kg
匿名(1件)	120円切手	9 枚

たくさんのご寄付をありがとうございます。

《預託先一覧》

・タオル類	➡	町内施設など
・食料		
・使用済切手	➡	北海道ユニセフ
・使用済テレホンカード		
・書き損じハガキ		
・ベルマーク	➡	西中音更小学校PTA
・リングプル	➡	プルネット

★リングプルについて

よくある質問 真ちゅう色や色の塗ってあるリングプルは？
ツナ缶などの缶詰のフタについてるリングプルは？

アルミ製のリングプルなら受け取り可能です。

スチール製は
受け取れません

○アルミ製・スチール製の見分け方○
磁石にくっつくのがスチール製
磁石にくっつかないがアルミ製

無理な取り外しはやめて、軍手などの手袋を使用してケガのないようにしましょう。